

NEAL-NET

NEAL-NETとは

NEAL-NETとは、北東アジア物流情報サービスネットワーク（Northeast Asia Logistics Information Service Network）の略称であり、日本、中国、韓国の主要港における①「コンテナ船の到着・出発時刻」、②「コンテナの船積み・船卸し時刻」、③「コンテナのゲートイン・ゲートアウト時刻」の情報を各国のユーザーに提供するシステムとその取り組みのための日中韓の協力の枠組みを言います。

このサービスを利用して、中国及び韓国の港湾物流情報が取得可能になったことで、例えば、日本から韓国へ輸出されるコンテナ貨物の場合では、韓国の港湾における船舶入港時刻やコンテナ船卸し時刻、コンテナヤードからのゲートアウト時刻までをウェブサイト上でリアルタイムに確認することができるようになりました。

これにより、荷主、フォワーダー等は、海上コンテナに係る情報をタイムリーに把握できるため、貨物の所在位置の確認に係る業務負担の軽減や過剰在庫の削減等の効果が期待されます。

NEAL-NETのあゆみ

近年、ビジネスのグローバル化の進展に伴い、企業が国境にとらわれず適地で調達・生産・販売を行う国際的な分業が一層発達してきており、リアルタイムな国際物流情報の共有に対するニーズが高まっています。

そのような中、日本、中国、韓国の3国は、平成22年5月に行われた第3回日中韓物流大臣会合*において、3国のコンテナ物流情報を共有するためのNEAL-NETを構築することに合意しました。この合意に基づき、日中韓3国は共同プロジェクトとして、リアルタイムな船舶動静及びコンテナ物流情報の共有を可能とするシステムの構築・連携を推進し、平成26年8月の第5回日中韓物流大臣会合開催に合わせ、3国間での物流情報共有サービスを開始するに至りました。

このサービスは、平成22年4月より国内港湾のみを対象として運用している我が国のコンテナ物流情報サービス「Container Logistics information Service (Colins)」と中国の「LOG-INK」、韓国の「SP-IDC」と呼ばれるシステムをそれぞれ接続することで実現したものです。

平成28年11月時点において、NEAL-NETの対象港湾は図2のとおりとなっています。

NEAL-NETのさらなる発展に向けて

第6回日中韓物流大臣会合（平成28年7月28日開催）において、日中韓の3国は、対象港湾の拡大を行動計画に盛り込むとともに、ASEAN、EU等へ共に推進していくこととしました。現在、定期的で開催されている3国の代表者をメンバーとするNEAL-NET専門家会合等を通じて、NEAL-NETの取り組みを推進しています。

*日中韓物流大臣会合：日中韓3国の経済依存関係が緊密化し、3国間の物流が重要な役割を担うようになる中、3国間の円滑な物流の実現等に向けた課題を解決し協力を推進するための枠組みとして、平成18年に創設。これまでに6回開催。

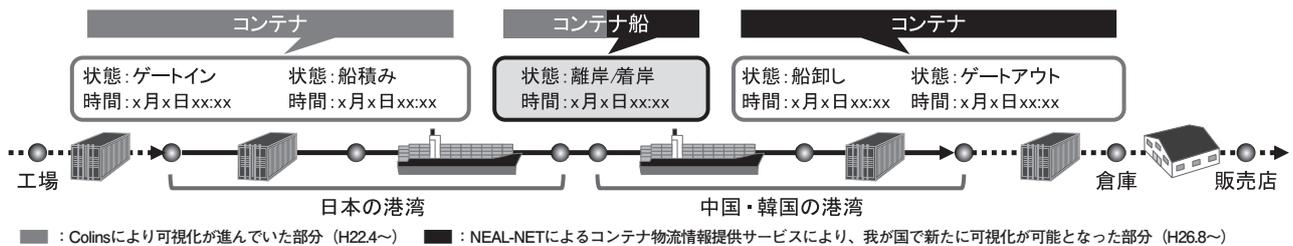


図1 NEAL-NETによる物流情報の可視化のイメージ

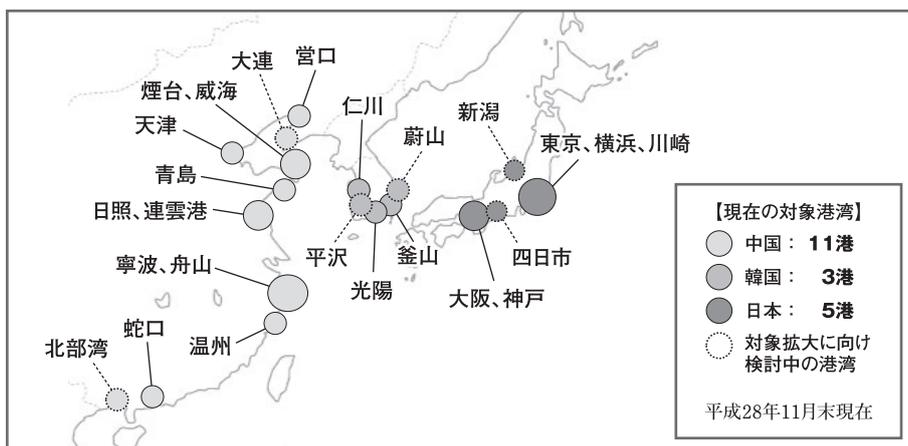


図2 NEAL-NET対象港湾